| 様式番号 | 書類名 | 提出期限 | 提出資料の体裁・記載内容・添付資料等 |
| --- | --- | --- | --- |
| 様式1 | 守秘義務誓約書 | 提供資料受領時 | ・A4判  ・記名押印してください。 |
| 様式2 | 現地確認参加申込書 | 8/24 | ・A4判  ・記名押印、希望日時等を記入してください。 |
| 様式3 | 質疑書 | 参加表明  に関する質疑  8/18 午後5時 | ・電子データ（Excel）  ・記名、質疑事項等を記入してください。  ・□は、該当する項目に☑を記入してください。 |
| 参加表明以外  に関する質疑  8/27 午後5時 |
| 様式4-1 | プロポーザル参加表明書 | 9/15 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・単独企業用と特定建設工事共同企業体用のどちらかを提出してください。  ・記名押印、必要事項を記入してください。  ・特定建設工事共同企業体用の提出者欄は、共同企業体名を記入してください。 |
| 様式4-2 | 参加資格確認書 | 9/15 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・□は、該当する項目に☑を記入してください  ・同一の建物で「a、b両方の要件を満たす場合」は、bの記入欄は省略して構いません。  ・実績を証明できる資料は、写しで構いません。また、1つの資料で要件がすべて確認できるのであれば、下記に記載の資料をすべて提出する必要はありません。  【設計業務】  ・実施要領「4．参加資格（3）業務別の参加資格 ア 設計業務に係る要件」を満たす実績を記入してください。  ・「建築士事務所登録証明書」を添付してください。  ・実績を証明できる「公共建築協会の公共建築設計者情報システム（PUBDIS）の業務カルテ」、「契約書の写し」、「業務完了を示す資料」、「仕様書」、「確認済証」、「大臣認定証」等の資料を添付してください。  【施工業務】  ・実施要領「4．参加資格（3）業務別の参加資格 イ 施工業務に係る要件」を満たす実績を記入してください。  ・「特定建設業の許可書」を添付してください。  ・実績を証明できる「コリンズの登録内容確認書」、「契約書の写し」、「業務完了を示す資料」、「仕様書」、「確認済証」、「大臣認定証」等の資料を添付してください。  【監理業務】  ・実施要領「4．参加資格（3）業務別の参加資格 ウ 監理業務に係る要件」を満たす実績を記入してください。  ・「建築士事務所登録証明書」を添付してください。  ・実績を証明できる「公共建築協会の公共建築設計者情報システム（PUBDIS）の業務カルテ」、「契約書の写し」、「業務完了を示す資料」、「仕様書」、「確認済証」、「大臣認定証」等の資料を添付してください。 |
| 様式4-3 | 法人等概要書 | 9/15 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・特定建設工事共同企業体の場合は代表者及び構成員のすべての書類を提出してください。  ・記名押印、必要事項を記入してください。 |
| 様式5 | 特定建設工事共同  企業体委任状・使用印鑑届 | 9/15 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・特定建設工事共同企業体として参加する場合、記名押印、必要事項を記入してください。 |
| 様式6-1 | VE項目対話申込書 | 9/30 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・記名押印、必要事項を記入してください。 |
| 様式6-2 | VE項目一覧 | 9/30 午後5時 | ・A4判（Excel）  ・基本設計図書に関して、費用減少や機能向上のための提案概要を一覧にしてください。  ・複数の関連項目をまとめて一つの提案とする場合でも、主な提案項目別に減額等の概略を提示してください。  ・詳細な内容については、様式6-3に記入してください。  ・頁番号は、基本設計図書の頁番号を記入してください。  ・費用欄は、減少を「▲」として表すとともに、1,000万円以上の減少を「A」、100万円以上1,000万円未満の減少を「B」、100万円未満の減少を「C」と記入してください。  ・機能欄は、向上を「＋」として表すとともに、その効果を金額に換算（参加者の主観的な額）し、1,000万円以上の増加を「A」、100万円以上1,000万円未満の増加を「B」、100万円未満の増加を「C」と記入してください。変わらない場合は、「同一」と記入してください。なお、機能が低下する提案は受け入れません。 |
| 様式6-3 | VE項目添付資料 | 9/30 午後5時 | ・A3判（PDF）  ・1項目につき、A3判1枚以内としてください。  ・図面等を用いてVE項目の内容を簡潔にわかりやすく示してください。  ・文字フォントの大きさは、10.5ポイント以上としてください。 |
| 様式6-4 | VE項目以外の付属項目資料 | 9/30 午後5時 | ・A3判（PDF）  ・1項目につき、A3判1枚以内としてください。  ・図面等を用いてVE項目の内容を簡潔にわかりやすく示してください。  ・文字フォントの大きさは、10.5ポイント以上としてください。 |
| 様式7-1 | 技術提案書 | 12/10 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・記名押印、必要事項を記入してください。 |
| 様式7-2 | 提案価格見積書 | 12/10 午後5時 | ・A4判(Excel、PDF)  ・記名押印、必要事項を記入してください。 |
| 様式7-3  様式7-4 | 提案価格見積書  （内訳書） | 12/10 午後5時 | ■様式7-3、7-4　共通  ・A4判(Excel、PDF)  ・任意書式を使用することも可能ですが、様式の項目は網羅してください。  ■様式7-3-Ⅰ（設計業務費）  ・項目が不足する場合は追記を、不要な場合は削除してください。  ■様式7-3-Ⅱ、7-4（施工業務費）  ・様式7-3-Ⅱ、下層となる様式7-4に記載の項目に沿って内訳明細を作成してください。  ・項目が不足する場合は追記を、不要な場合は削除してください。  ■様式7-3-Ⅲ（監理業務費）  ・項目が不足する場合は追記を、不要な場合は削除してください。 |
| 様式7-5 | 実績・体制評価  に係る提案書 | 12/10 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・各配置予定技術者は、実施要領「4．参加資格（4）実施体制」に記載の必要な資格及び実績を必ず記入してください。  ・「評価基準 別表1 実績・体制評価基準」の各項目を満たす実績を記入してください。項目を満たす実績がない場合は、「業務名」欄に「実績なし」と記入してください。  ・□は、該当する項目に☑を記入してください。  ・各資格証明書、雇用関係が確認できる資料の写しを添付してください。  ・実績を証明できる「公共建築協会の公共建築設計者情報システム（PUBDIS）の業務カルテ」、「コリンズの登録内容確認書」、「契約書の写し」、「業務完了を示す資料」、「仕様書」、「確認済証」、「大臣認定証」、「体制図」、「経歴書」等の資料を添付してください。  ・実績を証明できる資料は、写しで構いません。また、1つの資料で要件がすべて確認できるのであれば、上記に記載の資料をすべて提出する必要はありません。 |
| 様式7-6 | VE項目一覧  （対話済） | 12/10 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・VE項目対話により事務局から可とされた項目の中から技術提案書に盛り込むこととした提案について記入してください。  ・VE項目対話時よりも具体的な効果額を試算して記入してください。なお、契約後に記載した提案内容が履行できない場合は、実施要領「１５　技術提案書不履行に関する措置」に記載している違約金を請求する場合があります。  ・詳細な内容については、様式7-7に記入してください。 |
| 様式7-7 | VE項目添付資料  （対話済） | 12/10 午後5時 | ・A3判（PDF）  ・1項目につき、A3判1枚以内としてください。  ・図面等を用いてVE項目の内容を簡潔にわかりやすく示してください。  ・文字フォントの大きさは、10.5ポイント以上としてください。  ・会社名及び会社名を類推できる固有名詞、ロゴマーク等は一切記載しないでください。 |
| 様式7-8 | 技術提案評価に係る  提案書（表紙） | 12/10 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・受付番号と日付を記入してください。 |
| 様式7-9 | 技術提案評価に係る  提案書 | 12/10 午後5時 | ・A3判（PDF）  ・文字フォントの大きさは、10.5ポイント以上としてください。（図表内の文字は除く。）  ・会社名及び会社名を類推できる固有名詞、ロゴマーク等は一切記載しないでください。  ・「Ａ．業務全般－エ－」の「１次下請けにおける市内施工業者への発注金額」と「市内発注額の提案価格」は、税込金額での表示としてください。  　　（※提案価格の記載は行わないようにしてください。） |
| 様式7-10 | 特定建設工事共同  企業体協定書（案） | 12/10 午後5時 | ・A4判（PDF）  ・特定建設工事共同企業体として参加する場合、記名押印、必要事項を記入してください。 |
| 様式8 | 参加辞退届 | 必要な時 | ・A4判、・記名押印、必要事項を記入してください。 |